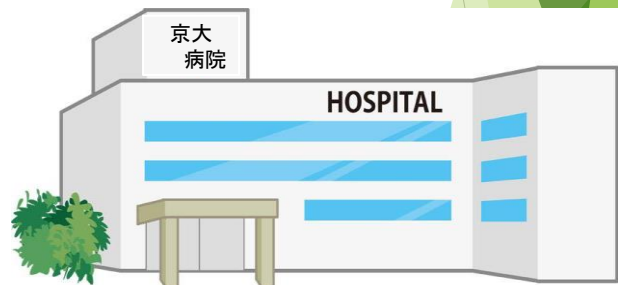


看護部 南病棟1階

整形外科・脳神経外科病棟

病棟の特徴

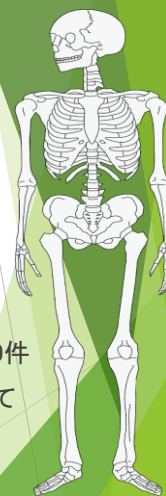
- ▶ 整形外科外来と病棟の一元化看護体制
 - ▶ 看護師数 37名
 - ▶ 男女比 1:4
 - ▶ 今年度の病棟目標
- ①対象者に合わせて安心と優しさが伝わる看護を実践する
 - ②外来・病棟や他部署との連携を図り効果的なベッドコントロールを行う
 - ③ともに働くスタッフの思いや表情に気を配り、支え合う職場環境を保つ
 - ▶ 術後早期離床
 - ▶ 疼痛コントロール
 - ▶ 栄養管理
 - ▶ 感染予防 など



整形外科の特徴

▶ 整形外科領域の疾患

- ▶ 変形性膝関節症
- ▶ 変形性股関節症
- ▶ 脊柱管狭窄症
- ▶ 関節リウマチ
- ▶ 軟部腫瘍、骨肉腫



▶ 年間手術件数 約1000件 人工膝関節110件、人工股関節130件 脊椎脊髄手術130件
骨軟部腫瘍切除術 150件、他に関節形成術、骨軟骨移植術、靭帯再建術なども行っている

▶ 入院患者数 年間17189人(2022年度延べ数) (京大病院ホームページより)

▶ 平均在院日数 14.8日

▶ 平均稼働率 89.1% (2023年10月時点)

この写真の作成者 不明な作成者は CC BY-NC-ND のライセンスを許諾されています

整形外科病棟の看護

- ▶ 手術前・手術後の全身管理及び日常生活行動の積極的な自立支援
- ▶ 疼痛コントロールと早期離床に向けた支援
⇒理学療法部と連携することで患者のADLの向上を促す
手術後から積極的に鎮痛剤を使用し、効果的にリハビリが行える支援
- ▶ 患者と積極的にコミュニケーションをとり信頼関係を築き、入院生活や手術に対する不安を軽減
- ▶ 退院後に必要な情報提供や退院・転院調整
- ▶ 医師や地域ネットワークサービス担当の看護師と定期的なカンファレンスの実施
⇒患者の治療方針共有や退院後のサービス導入などの話し合い



人工関節置換術(膝・股関節など)分野

- ・ 変形性膝関節症や変形性股関節症といった疾患に対し、人工関節に置換することで、関節痛の軽減やADLの向上を目指すことができる
- ・ 京大病院では症例ごとに最適な治療方針となるように決めており、ロボットやコンピューターシミュレーションを取り入れた手術も行っている

脊椎疾患分野

- ・ 骨切り術を伴う脊柱変形矯正や椎体全摘出などの脊椎腫瘍を積極的に行っている
- ・ 脊椎の固定・除圧術を行い、手足のしびれや動かしにくさといった神経症状の軽減や、ADLの向上を目指すことができる

化学療法(抗がん剤を用いた治療)

- ・ 骨軟部悪性腫瘍などの根治を目指した積極的な手術療法、化学療法を取り入れている
- ・ 抗がん剤は様々な種類があり、患者様の腫瘍に合ったものを使用し治療するため、副作用も様々である(例:脱毛、血尿、倦怠感、吐き気など)

脳神経外科病床追加

2023年度から混合病棟に！！

- ▶ 整形外科が37床、脳神経外科が10床、共通病床が1床
- ▶ 疾患:脳動脈硬化症、もやもや病、脳動静脈奇形、脳出血、TIA、正常圧水頭症など
- ▶ 検査:脳血管造影検査(アンギオ)、SPECT(ダイアモックス負荷試験)など
- ▶ 術式:VPシャント、LPシャント、てんかん焦点切除術、一般開頭腫瘍切除術など
- ▶ 化学療法:ICE+BEV(アイス+アバチン)

脳腫瘍

頭蓋骨内にできた腫瘍に対して、開頭術による切除術やICE-BEV(イホマイド、カルボプラチン、エトポシドの3種類の抗腫瘍剤を使用し、血管新生阻害剤を併用することで効果を高める)の化学療法などを行う。

脳卒中

脳梗塞、脳出血、くも膜下出血の術後の血圧コントロールや点滴加療を行う。

正常圧水頭症

シャント術を行い、髄液を腹腔に流して排出することで症状の改善をめざす。VPシャント(脳室腹腔シャント)・・・非交通性水頭症、交通性水頭症ともに適応 LPシャント(腰椎クモ膜下腔腹腔)・・・交通性水頭症の適応

脳動脈瘤、もやもや病等

血管造影検査、SPECT検査、造影MRI検査、造影CT検査などで精査を行う。また、手術前後の全身状態の管理を行う。

脳神経外科病棟の看護

- ▶ 手術前・手術後の全身管理及び日常生活行動の積極的な自立支援
- ▶ 検査前・検査後の全身管理及びオリエンテーション
- ▶ 脳神経疾患に伴う障害の受容のサポート・心理面のサポート
⇒意識障害や運動障害、嚥下(飲み込み)障害や言語障害など、
後遺症としてさまざまな機能障害が残る場合がある
患者の思いを傾聴し、残存機能を活かしその人らしい生活ができるよう支援する
- ▶ リハビリテーションのサポート
⇒運動機能や言語機能など、患者ひとりひとりに合ったリハビリテーション
- ▶ 患者・家族の状況(身体的・社会的・心理的状況)に応じてた退院指導
⇒カンファレンスを実施し、患者に合った退院支援をチームで検討

病棟看護師の一日 ～日勤編～

- ▶ 8:30 電子カルテから受け持ち患者の情報収集
- ▶ 8:45 全体申し送り、パートナーとミーティング
- ▶ 9:00 ラウンド・情報収集・環境整備
- ▶ 10:00 保清、入院取り扱い、手術出棟・迎え、手術後の観察、化学療法など
- ▶ 12:00 休憩(パートナーと交代で1時間ずつ)、食事介助
内服配薬・確認、バイタルサイン測定、
食事摂取量・排便確認
- ▶ 14:00 IN/OUT確認
看護計画の立案・評価
カンファレンス実施(月・木:腫瘍、火:退院支援、金:リスク)
- ▶ 16:30 長日勤への引継ぎ、残務をパートナーと確認
- ▶ 17:15 日勤終了



病棟看護師の一日 ～長日・夜勤編～

長日勤開始:引き継ぎ、情報収集

- ▶ 16:45 長日勤メンバーでミーティング後30分休憩
- ▶ 18:00 食事介助、内服薬配薬・確認、
食事摂取量確認、洗面介助、口腔ケアなどADL介助
- ▶ 20:15 夜勤出勤・電子カルテから情報収集
- ▶ 20:30 申し送り、夜勤メンバーでミーティング
- ▶ 20:45 当直医師とハドルミーティング
- ▶ 21:00 長日勤帯終了

夜勤開始:ラウンド、バイタルサイン測定、内服薬配薬

- ▶ 22:00 消灯 IN/OUT確認
2時間ごとに巡回
- ▶ 6:00 IN/OUT確認、バイタルサイン測定、採血、手術出棟準備
- ▶ 7:30 血糖測定、洗面介助、
- ▶ 8:45 全体申し送り
- ▶ 9:00 夜勤帯終了



若手職員紹介

●入職2年目、南病棟1階 整形外科・脳外科

●主な仕事内容

毎週15例以上行われる手術の術後全身管理から回復過程における日常生活上の看護ケアを提供しています。疾患によっては外科的治療のほか、化学療法や放射線療法等による集学的治療もっており、多職種と協働しながら、リハビリ支援や退院調整を行っています。



整形 南さんのある1日

- 8:45 ● 情報収集、朝の全体申し送り
- 9:00 ● 病棟業務(患者ラウンド・検温)
- 10:00 ● 入院患者対応・保清・離床援助
- 12:00 ● 休憩
- 14:00 ● カンファレンス・術後観察・記録
- 18:00 ● 帰宅、夕食の準備
- 19:30 ● 明日の仕事の準備

仕事をするうえで大切にしていること

まだまだ勉強不足を感じる事が多い中、大切にしていることは、いつも患者さんの立場を理解する看護師でありたいということです。様々な理由で日常生活の援助を必要としている患者さんに、看護師目線ではなく、患者さんと同じ目線で物事をとらえたいと思っています。そのために患者さんの訴え一つ一つにしっかりと耳を傾け、言葉の奥にある感情を読み取れるように努力しています。患者さんとの心のつながりが、患者さんの回復にも看護師の成長にも、双方に良い影響を与えていると感じています。

就職希望者へのメッセージ

看護師になり仕事を始めて1年目のころは、毎日ドキドキ緊張していたことを思い出します。先輩方の指導のおかげで、少しずつ自分のことができるが増えていくのが日々の喜びでした。楽しいことばかりではありませんが、やりがいのある仕事を選んで間違いなかったと感じています。患者さんから優しい言葉をいただいたり、先輩・仲間を支えられながら頑張っています。私たちと一緒にlet's work together!!

南病棟1階のスタッフ紹介

・医師編

- ▶ 教授
- ▶ 講師
- ▶ 助教
- ▶ 医員
- ▶ 大学院生



・看護師編

- ▶ ベテランナース
- ▶ 中堅ナース
- ▶ 1～3年目

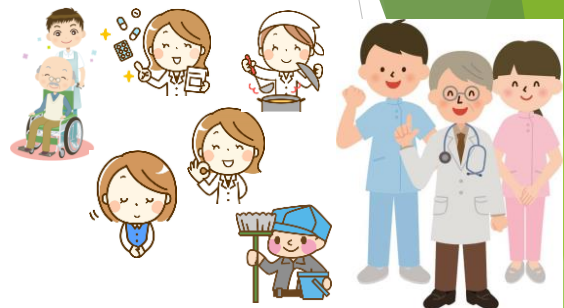


・その他スタッフ編

- ▶ 看護補助者
- ▶ 薬剤師
- ▶ 栄養士
- ▶ 地域ネット担当
- ▶ 秘書さん
- ▶ クリーンキーパー



南1階では多職種で協力しあって患者さんを支えています



夜勤明けの
2年目看護師さん



看護補助者さんの一日

- ▶ 朝食配膳・下膳
- ▶ ごみ捨て(1日数回)
- ▶ 病棟リハビリテーション室のシーツ交換
- ▶ 入室部屋の準備
- ▶ 部屋移動、患者さんの搬送
- ▶ 退院後の部屋清掃
- ▶ 昼食配膳・下膳
- ▶ 環境整備
- ▶ 備品調達
- ▶ 車椅子点検、掃除等



患者さんのスケジュールや看護師や清掃担当と協力してスムーズに病室移動できるようお手伝いしています。

検査やリハビリにお送りしたり、患者さんのすぐ近くで活躍しています！

南病棟1階には車椅子が40台以上あります。メンテナンスなども担当し、患者さんの安全を守っています。

